

加茂地区の世帯・人口

世帯数 2,281 世帯
人口 4,242 人
男 2,135 人
女 2,107 人
令和7年7月1日現在

かも福祉だより

令和7年9月1日発行
第23号

発行者
加茂地区社会福祉協議会

事務局
吉沢学園交流棟
市原市吉沢117番地

だれかの 為に!!

加茂地区社会福祉協議会
会長 明賀 彦之

日頃、地域の皆様には、加茂地区社会福祉協議会の活動に、ご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。昭和の高度成長期の置き土産が人々の関係の希薄化を起こし、また令和のコロナ禍でコミュニケーションが更に取りれなくなりました。このようなことを踏まえて「労を惜しまず」、想いを込めて地域共生社会を人の為、みんなの為に濃くなるように活動して参りたいと思い、昨年の“今を生きる”から、今年度のテーマを福祉の原点である“だれかの為に!!”としました。地域の皆様のより一層のご協力をお願いします。

今年も敬老会開催!

敬老会事業

敬老会事業は、平成28年に市の補助金等の廃止により、市内各地区の福祉協議会は廃止を選択しましたが、加茂地区は独自に継続して実施しています。これも加茂の里山を中心とした地域社会づくりにご尽力いただいている地元の団体等、皆さんの努力の賜物です。コロナ禍が収束して一昨年から再開しましたが、今年も開催の運びとなりました。加茂を育ててくれた元気な高齢者が集うのは、ふれあいの場として素晴らしいものです。多くの方の参加をお待ちしております。

日時 令和7年9月28日(日)
10時~12時30分

会場 市原市立加茂公民館 体育室

対象者 75歳以上の方

(昭和26年4月1日以前に生まれた方)
(参加者と付き添いの方にはお弁当・お茶を用意します)

プログラム予定

ダンス、懐かしのフォークソング、吟舞

加茂地区の高齢化が進む中で高齢者夫婦世帯や独居世帯が増加し、地域とのつながりも希薄になってきています。加茂地区社会福祉協議会では、加茂地区発展のために貢献された高齢者の方に、長寿お祝い品を贈り感謝の気持ちを伝える事業を毎年行っています。本年も加茂地区町会長会のご協力を頂き、75歳以上の配付対象者の調査を行い1,351名が確認されました。お祝い品はゼリー詰め合わせセットとし、9月以降の配付を予定しています。これからもお体には充分気をつけて、地域の為にお力添えをお願いします。ご長寿おめでとございます。



サロンで心も身体も頭もリフレッシュ

サロン担当理事 吉川富貴子

今年度も里山サロンが開催されました。今年度第一回目は5月28日、昨年的人气No.1のミニ運動会です。今年の競技種目は4種類。まずは、昨年大盛り上がりだったボール送り。ゲームだから勝敗は二の次と思ってもらって勝負になるとみんな夢中。「早く、早く」と遠くの方から呼んでみたり、作戦会議をしたり、応援にも力が入ります。「頑張れー」という黄色い声が飛び交いました。「宝船を運ぼう」と「着せ替えレース」も加わりました。宝船に荷物を積み、櫂を漕いで荷物を運びました。そして「着せ替えレース」。スタッフが「茶つきり娘」と「茶つきり男子」に変身しました。昔懐かしのモンペを履いたり、農作業着を着たり、最後の行進は笑ったり、手をたたいたりと圧巻でした。童心に帰り、夢中になって動いた一日でした。



そして、6月28日、初めて加茂公民館とコラボしての「藤本千波さんによる歌の集い」。藤本さんの童謡に始まり全員で合唱、藤本さんのピアノ伴奏によるラジオ体操、そして懐メロと続き、最後は公民館の職員のお手製のスライドに合わせた先生の独唱です。スライドを見ながら涙ぐんでいたのは私だけではないと思います。参加者55名の心が温くなるような時間でした。藤本さんは、リハーサルの時、「こうすればみんなが楽しく歌える、こうすればもっと良いスライドになる。」とたくさんアドバイスをくださいました。そのお陰であんなに温かい歌の集いが出来たのだと思います。皆さんに楽しんでもらうためには入念な準備が必要だと教えられた一日でした。

これからも皆さんが、心も身体もそして頭もリフレッシュ出来る里山サロンを開催したいと思います。皆さんのご希望があればお聞かせください。次回は11月26日の健康体操です。多くの皆さんの参加をお待ちしております。



加茂地区の大切な情報源の配付へ

加茂地区第2層協議体
代表 武内博文

加茂地区社協の内部組織「明日の加茂を考える第2層協議体」では、加茂地区住民を対象に、地域の方と交流できる場・日頃の買い物支援・外出支援・日常生活のお手伝い(草刈り等)などの情報を集めた「加茂地区ささえ合い便利帳」を作成しました。75歳以上の方へは手渡しにて順次配付いたします。また、加茂支所や加茂公民館などにも置きますので、興味のある方は、ぜひご覧ください。



小域福祉ネットワークの活動を紹介します

富山地区 小域福祉ネットワーク

会長 三原 茂

今年度は共生型サロン活動を行っています。まずは、6月にゲーム大会を行いました。6チームに分かれ和気あいあいの中、高得点を目指し真剣にプレーに集中していました。上位チームには素敵な景品もあり、楽しいひと時を過ごしました。また、8月にはウクレレの演奏を聞いて楽しむ会も行われ、有意義な一日となりました。今年度も生活支援事業として、高齢者宅や独居生活の家庭の草刈りをして、少しでもお手伝いが出来るようにと考え実施しています。これからも皆様と一緒に歩んでいきたいと思っています。



里見地区 小域福祉ネットワーク

会長 武内 博文

昨年7月から毎週金曜日の10時から15時まで旧里見小学校(里山食堂)で里見広場サロン(共生型サロン)を開設し、1年が経ちました。サロンでは地域包括支援センタートータスによる健康体操や脳トレ、ゲームなど楽しい企画を立ててもらい、毎月支援していただいています。役員も参加者と一緒に楽しんでいます。他にも里見駐在所、市原警察署の移動交番、市原市消費生活センター、昭和村からも協力していただき、訪問販売で注意すること、クーリングオフの対応の仕方などを教えてもらったり、昭和村のケアマネージャーによる介護保険制度などの話も聞くことができました。参加者からは話を聞いて良かった、ためになった、また是非参加したいなどの意見もありました。これからもみんなで身体を動かしたり、お話をしたり、脳トレしたりして楽しんできたいと思います。お昼には、吉沢学園のパンを食べたり、弁当を食べながら話をしたりして、時間のたつことも時には忘れてしまい、話に夢中になってしまうこともあります。誰でも気軽に参加できます。



白鳥地区 小域福祉ネットワーク

会長 相川 誠一

5月末に総会を開催し、令和7年度の活動及び予算計画と一部役員の変更を決定しました。令和7年度の活動計画は、安心生活見守り支援、草刈り助け合い作業活動、ネットワークだよりの発行、パターリングの普及です。安心生活見守り支援は、申込者の減少で活動が停滞しています。町会長、民生委員、福祉関係者と連携して再構築を図りたいと考えています。草刈り助け合い作業活動は3年目を迎え、少しずつですが利用者も増えています。今からでも遅くありませんので、遠慮しないで気軽にお申込みください。ネットワークの活動は、ややもすると役員と推進委員だけの活動になっている感があります。今後、地域の住民誰もが参加できる旧3学区ごとの集いや研修会などの取組みを検討する必要があると考えています。



高滝地区 小域福祉ネットワーク

会長 古茶 英晴

高滝地区では、高齢者の安心生活見守り支援と子どもの安全見守りを主要な活動として行ってきました。安心生活見守り支援については、訪問員23名による定期的な訪問活動を行いました。また、歳末助け合い運動(地域福祉支援事業)として、町会ごとに70歳以上の一人世帯を把握し、見守り支援世帯及び民生委員訪問世帯と併せ109世帯に訪問グッズを持参して訪問活動を展開しました。子どもの安全見守りについては、登校時又は下校時に地区内8地点で延べ270名の参加により実施しました。令和7年度は、推進委員42名、役員9名体制で運営しています。推進委員会での研修は、「地域の良さと課題」「近所づきあいを考える」「一人暮らしと見守り支援」(講演)をテーマに実施しています。



各施設からの情報

社会福祉法人加茂つくし会 高滝神明の里より

6月行事では、「縄文から昭和の暮らし」を職員が再現しました。縄文時代は、貝殻のイヤリングと葉のネックレスを付けて狩りの様子、江戸時代では、刀を差した武士の装い、明治時代では、ハイカラさんをイメージした袴姿やロングドレス、昭和初期は、緋の羽織・もんぺ姿で農村の暮らしを演じました。皆様から楽しそうな歓声があがり、大変盛り上がりました。最後にデイ利用者様も参加され、炭坑節を踊って、賑やかな一時を過ごしました。参加されたい方はどうぞ!



社会福祉法人市原うぐいす会 緑祐の郷より

今年度緑祐の郷では、外出行事を多く企画しております。春は高滝ダム周辺に桜や菜の花見学。5月は、クオードの森へ鯉のぼり見学やVONDS市原サッカー応援ツアー、紫陽花見学等を行いました。今後の活動につきましても、加茂地区の地域行事にも参加させていただき、ご入居者様、ご家族の方に寄り添って参ります。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



社会福祉法人 昭和村より

軽費老人ホーム深泉荘が、昭和49年7月に養老深谷で産声を上げてから50年が経ち、さる2月23日の天皇誕生日に、賞状とご下賜金を拝領することができました。設立当初は、都会からの入所が多かった深泉荘ですが、現在は地域の方のご理解により地元の方が多く入所されております。深泉荘設立以後、特別養護老人ホーム市原園、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所、在宅介護支援センターと徐々に事業も拡大し、万田野に新築移転も出来ました。今後も、地域から愛され、頼りにされる施設になれるように役職員一同励んでいきたいと思っています。



この度のご下賜金拝領の記念として、「東石材様」「市原ニューエナジー様」のご協力により記念碑を建立いたしました。お越しの際は是非ご覧ください。

社会福祉法人ききょう会 吉沢学園より

田尾での営業を始めて5年が経ちました。カフェ、製パン、野菜作りなど、障がいをもった方が頑張って作業を行っています。TABI Caféではランチの提供の他、焼き立てパンや焼き菓子、地域野菜の販売も行っております。近隣の方に好評いただき、地域の集まりや井戸端会議を楽しむ様子が増えました。みなさんのご来店をお待ちしております。

TABI Café



私たちの活動を紹介します

子育て家庭支援員加茂支部

私たち子育て家庭支援員は、この春5名が入替わり10名で活動しています。主な仕事は、子育て家庭の困りごとや不安に寄り添い、関係機関につなげるパイプ役で、生後4か月を迎える赤ちゃんのいるお宅を訪問しています。また、「親子の交流の場づくり」として...

- (1) **【子どもフェスタ】** 6月28日(土) セットエー武道場: 600人を超える親子が参加しました。
- (2) **【かもつくしんぼフェスタ】** 10月15日(水) 加茂公民館: 魚釣り・わなげ・ボーリングなどのほかにおもちづくりもします。
- (3) **【クリスマス会】** 12月14日(日) 加茂公民館: 歌やゲーム、クリスマスの飾り作り、そしてプレゼントもあります。

加茂公民館と連携して活動しているものに『ニコニコすくすく』『おはなしいすき』『健康体操』があります。子宝という言葉がありますが、子どもは加茂の宝です。一人でも多く生まれ、そして元気にたくましく育っていかれますように!

